

シクリスムエコーNo.107 2004年4・5月号

平成16年度 事業計画	2	第29回チャレンジサイクル・ロードレース	12
第24回アジア自転車競技選手権	4	第20回全国高等学校選抜自転車競技大会	14
第11回アジアジュニア自転車競技選手権	4	UCIトラック・ワールドカップ・クラシックス	17
第7回全日本選手権ロードレース	8	第4回全日本実業団選抜トラック記録会	18
第9回ジュニア全日本選手権ロードレース	10	第6回3DAY CYCLE ROAD 熊野	19
第73回全日本アマチュア選手権ロードレース	11	競技大会結果	20
2004年ロード世界戦派遣選手選考基準	11	連盟の動き / 5・6月の主な予定	20



平成16年度事業計画

財団法人 日本自転車競技連盟

方針

事業計画概要

本連盟もアマ、プロオープン化により設立されて早10年を迎えた。アマ車連設立70周年、プロ車連設立48周年。十年一昔と言うが、時の流れ、時代の変化は激しく、厳しさは増すばかりである。

今年は、オリンピックイヤー、連盟の存在意義である自転車競技の普及振興を図る絶好の機会でもある。しかし、各事業を推進するには基本的財源不足が大きなネックとなっている。

数年来、短期、中期、長期のガイドラインを発表してきたものの、具体的な実質促進には、繋がっていない。もう公益補助金に依存する時代は許されなくなった。

今年度の事業計画は下記に例記したが、根本論として、財源の確保、事業の合理化、効率化等を抜本的に改革せざるを得ない、甘えは許されない。役員会員一同団結し、現状を直視し各事業の推進を図らなければ、存在そのものが危惧されることになる。とにかく論ずるより実行あるのみ、下記事業の推進を真摯に図りたい。

〔総務部〕

本連盟事業における財政状況の悪化にともない昨年8月総務委員会のもとに発足した財政部会の議論を踏まえ、財源問題をはじめ連盟運営の合理化について早急な対策を講じつつ万全な業務運営を図る。

〔業務部〕

オリンピック・イヤーまた、オリンピックに繋がるアジア選手権の開催も4月に決まり、自転車競技をアピールするのに絶好のチャンスである。

それを生かすには、現状を再認識しこれからの方向性を委ねる羅針盤を再構築する必要がある。そのためには、窓を大きく開き外からの情報、意見の収集が重要となる。

そして、収集した情報等を構築に生かすためにはその分野に長けた者の正確な分析が不可欠である。

観る側、走る側がもっと楽しく、分かり易い競技のために。

〔選手強化部〕

オリンピックが開催される本年は、

「アテネでのメダル獲得」を最大目標に掲げ、選手強化を図る。特にトラック競技においては、その予選大会であるワールドカップ・世界選手権大会へ、新ナショナルチーム選手を中心に派遣し、より多くの出場枠が獲得できるよう努める。

オリンピック派遣選手の選考については、基本的に出場枠獲得者を選考する。しかし、既に昨年度オリンピック出場枠を獲得しているロード男子・マウンテンバイク男子については、本年開催される国内大会により選考し、オリンピックで好成績が得られるよう選手強化に努める。

これに併行して、オリンピックへの選手派遣においては、(財)日本オリンピック委員会・アテネオリンピック組織委員会並びに国際自転車競技連合との連絡を密にし、その情報収集を図り、万全の体制で臨めるよう努める。

また、オリンピック終了後はナショナルチーム・強化指定選手の再編成を行い、北京オリンピックに向けた選手強化を図る。

〔国際事業推進室〕

スポーツ団体の将来を考えると、国際化は重要なテーマである。国内外における国際的事業推進において地勢的な条件が障壁となるものはもちろんであるが、通信手段の発達した現在においては言語における障壁を低くすることが重要である。このために外国語に精通した者を各方面で登用していくことと、諸文書を日本人と外国人が相互に理解できる形にすることなどが重要であろう。

また、日本の競技者が国際的に活躍するための基盤として国内諸制度を国際的制度和整合化し、競技者や審判、コーチなどのための支援体制を整備していくことも重要である。

上記のことを踏まえて国際事業推進室は本連盟諸事業の場において人材の発掘/養成/登用資料/文書の2ヶ国語(日本語・英語)化国内外の情報の収集対外(国内外)的な情報の蓄積および公開。そしてこれらのための事務局内での情報の共有化および事務局整備を推進する。そしてこれらの円滑な推進のため

関係者/団体との良好で緊密な協力関係を涵養すべく活動する。

以上が本年度の事業計画の方針及び概要であるが実施事業については以下のとおりである。

実施事業

1 自転車競技国内競技大会関係事業

次の主要大会は、担当専門委員会において実施要項を作成し、適切な大会運営を図り、自転車競技の啓蒙普及及び競技者、審判員の技術の向上に資するものである。

- ①全日本自転車競技選手権大会
- ②その他国内大会

2 国内での国際競技大会事業

- ①ジャパンカップロードレース大会
- ②アジア自転車選手権大会(トラック・ロード)開催

3 国際競技大会関係事業

世界選手権大会、ワールドカップ大会等の国際大会に日本代表選手団を派遣する。またUCI等国際機関の会議に参画し国際情勢を的確に把握する。国際審判員等を諸外国へ派遣し高度な理論及び技術の習得を行うとともに積極的な国際交流を図る。

- ①第28回オリンピック競技大会選手派遣
- ②世界選手権自転車競技大会(種目別)選手派遣
- ③アジア自転車競技選手権(MTB)大会選手派遣
- ④国際大会選手派遣
- ⑤2004年国際グランプリケイリン選手派遣
- ⑥ACCトラックアジアカップ大会の選手派遣
- ⑦国際会議への派遣
- ⑧国際審判員の派遣
- ⑨外国自転車競技関係者の招聘

4 加盟団体関係事業

加盟団体が実施する事業が、自転車競技の啓蒙普及及び競技者、審判員の技術の向上を図るうえからも円滑に運営できるように支援するものである。

(1) 都道府県連盟関連事業

- ①全国地域別道路競走大会(8地域)

- ②全国地域別トラックレース大会(8地域)

- ③全国都道府県別自転車競技選手権大会
(47都道府県)
- (2)日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業
- ①全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会
- ②全国地区別プロフェッショナル自転車競技選手権大会
- ③プロサイクリスト強化事業他
- (3)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部関連事業
- ①全国高等学校選抜自転車競技大会
(トラック、ロード)
- ②全国高等学校自転車競技合宿
- ③全国高等学校指導者養成講習会
- (4)日本学生自転車競技連盟関連事業
- ①全日本大学対抗選手権自転車競技大会
- ②全日本学生選手権自転車競技大会
(トラック、ロード、チームロード)
- ③東西地域別自転車競技大会他
- (5)全日本実業団自転車競技連盟関連事業
- ①全日本実業団対抗サイクルロードレース大会
- ②全日本実業団自転車競技選手権大会
- ③東西地域別実業団ロードレース大会他
- 5 アンチドーピングの推進事業**
国内全日本大会クラス実施

6 強化・普及事業

アテネオリンピックでのメダル獲得を目標にした選手強化体制を基本に国際大会で好成績が収められるよう選手の強化・育成に努める。

また次代を担う選手に対しては本年日本で開催されるアジア選手権大会を始め国内外の競技大会に派遣し世界に通用する選手の育成に努める。

さらに自転車競技者の拡大及び競技大会への参加者増加を図るべく自転車界に限らず広い範囲において競技情報の提供を行い普及事業を展開する。併せて全国各地より選手を一同に集め優秀な人材発掘を目的としたチャレンジ・ザ・オリンピック等の実施・支援を行う。

- (1)選手強化訓練事業
- (2)全国自転車競技指導担当者研修会・審判講習会
- (3)自転車競技の普及・広報事業
- (4)ケイリン種目普及指導事業
- (5)機関誌発行事業
- (6)チャレンジ・サイクル・ロードレース大会

7 調査研究事業

国内競技大会の規則を整備すると共に、ランキングを始めとする、競技情報の管理システムを構築し、競技大会の今日的な在り方を研究する。

また、国際自転車競技連合(UCI)に係わる情報の収集及び諸外国の実状を分析・検討し、国際的な諸制度に合致するよう競技環境の整備方法を研究する。

- (1)国内競技大会に関する研究
- (2)国際競技における制度等に関する調査研究
- (3)選手強化等に関する調査研究
- (4)登録システムの整備

共催事業の実施

関係支援団体と共にロードレースの開催を通して我が国における自転車競技の啓発及び健全なる国民生活の向上を図り、もって体育文化の発展に寄与するものである。

- (1)ツアー・オブ・ジャパン
(自転車月間推進協議会・朝日新聞社)
- (2)ツール・ド・おきなわ
(ツール・ド・おきなわ協会)
- (3)ツール・ド・北海道
(財)ツール・ド・北海道協会)
- (4)ツール・ド・とうほく
(同組織委員会・(財)河北文化事業団)
- (5)3DAY CYCLE ROAD熊野
(3DAY ROAD熊野実行委員会)
- (6)シマノ鈴鹿国際ロードレース大会
(株)シマノ)

収支予算書総括表

(単位：円)

科目	合計	一般会計	日本体育協会 補助事業 特別会計	国際競技力 向上事業 特別会計	オリンピック キャンペーン事業 特別会計	日本自転車振興会 公益補助事業 特別会計	スポーツ 振興基金 特別会計
I. 収入の部							
基本財産運用収入	150,000	150,000	0	0	0	0	0
会費収入	21,000,000	21,000,000	0	0	0	0	0
事業収入	554,465,000	9,900,000	0	0	0	544,565,000	0
補助金等収入	92,286,000	59,350,000	8,696,000	7,578,000	3,200,000	4,390,000	9,072,000
ツール・ド・北海道免税募金交付金収入	22,000,000	22,000,000	0	0	0	0	0
負担金収入	9,139,000	4,850,000	0	3,789,000	0	0	500,000
寄付金収入	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0
雑収入	1,620,000	1,600,000	2,000	10,000	4,000	0	4,000
繰入金収入	6,956,000	0	0	0	0	1,600,000	5,356,000
当期収入合計	708,616,000	119,850,000	8,698,000	11,377,000	3,204,000	550,555,000	14,932,000
前期繰越収支差額	87,791,042	49,514,126	3,401,551	5,903,161	29,785,624	813,420	0
収入合計	796,407,042	169,364,126	12,099,551	17,280,161	32,989,624	549,741,580	14,932,000
II. 支出の部							
事業費	630,401,000	41,635,000	8,698,000	11,377,000	3,204,000	550,555,000	14,932,000
ツール・ド・北海道免税募金交付金支出	22,000,000	22,000,000	0	0	0	0	0
管理費	61,050,000	61,050,000	0	0	0	0	0
特定預金支出	3,900,000	3,900,000	0	0	0	0	0
繰入金支出	6,956,000	6,956,000	0	0	0	0	0
予備費	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0
当期支出合計	725,307,000	136,541,000	8,698,000	11,377,000	3,204,000	550,555,000	14,932,000
当期収支差額	16,691,000	16,691,000	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	71,100,042	32,823,126	3,401,551	5,903,161	29,785,624	813,420	0

第24回アジア自転車競技選手権 第11回アジアジュニア自転車競技選手権

ロード競技(4/9~11 三重・四日市水沢地区)



エリート男子個人ロードのスタート



ジュニア女子個人ロード、スプリントを制した萩原



エリート男子個人ロード、惜しくも5位の岡崎(左)



エリート男子個人ロード、見事優勝の鈴木



ジュニア男子個人ロード、惜しくも6位の島田(左端)



ジュニア男子個人ロード、カザフ勝利のゴール



エリート女子 個人ロード
ゴールスプリント届かず3位の森本(右から2人目)

4月9日から16日、三重県四日市市において、第24回アジア自転車競技選手権・第11回アジアジュニア自転車競技選手権が開催された。

ロード競技は四日市の水沢地区、トラック競技は四日市競輪場で行われ、14日には雨天中止という事態になったが、スケジュールを組み替え、無事全日程を終了した。

[競技結果]

< エリート男子 >

個人ロードタイムトライアル (38.5km)

1	バザエフアツサ	KAZ	53:37.19
2	アスキー 純仁	IRI	53:54.60
3	ミズバニイナクガディール	IRI	55:35.76
	岡崎 和也	JPN	DNF

個人ロードレース (150.5km)

1	鈴木 真理	JPN	4:04:29
2	ウリスキー マツシ	KAZ	4:04:29
3	ドミトリー バレリ	KAZ	4:04:36
5	岡崎 和也	JPN	4:04:53
9	狩野 智也	JPN	4:04:56
	広瀬 敏	JPN	DNF

< エリート女子 >

個人ロードタイムトライアル (27.5km)

1	リメイフォン	CHN	43:03.61
2	唐見実世子	JPN	44:31.80
3	ジャンジュン	CHN	45:07.93
5	大塚 歩	JPN	47:25.45

個人ロードレース (99.7km)

1	ジャンジュン	CHN	3:15:44
2	ノタツジャンペン	THA	3:15:44
3	森本 朱美	JPN	3:15:44
5	中村 珠藻	JPN	3:18:06

< ジュニア男子 >

個人ロードタイムトライアル (27.5km)

1	ジューヒョク	KOR	40:17.80
2	ナギ 純仁	IRI	40:29.26
3	礼エフマン	KAZ	41:01.79
7	房州 輝也	JPN	42:51.21
13	石川 雅望	JPN	44:59.57

個人ロードレース (99.7km)

1	ラインバ コフボラット	KAZ	2:45:01
2	イウオンジェ	KOR	2:45:01
3	礼エフマン	KAZ	2:45:02
6	島田 真琴	JPN	2:46:32
	西村 光太	JPN	DNF
	石川 雅望	JPN	DNF
	房州 輝也	JPN	DNF

< ジュニア女子 >

個人ロードタイムトライアル (11.0km)

1	萩原麻由子	JPN	17:58.76
2	マリホ	CHN	18:08.61
3	ソヒジョン	KOR	18:43.05
6	佐藤 美香	JPN	19:45.43

個人ロードレース (48.9km)

1	萩原麻由子	JPN	1:34:41
2	ソヒジョン	KOR	1:34:41
3	マリホ	CHN	1:34:41
6	佐藤 美香	JPN	1:35:25



ジュニア男子 個人TT 7位の房州



ジュニア女子 個人TT優勝の萩原



エリート男子 個人TT
惜しくもDNFの岡崎



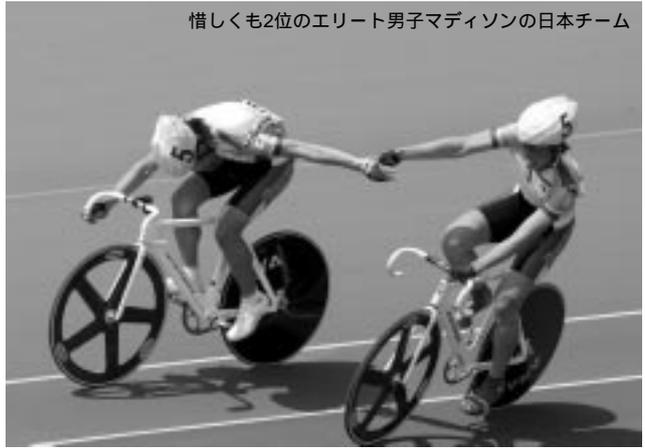
エリート女子 個人TT2位の唐見

トラック競技 (4/13 ~ 16 三重・四日市競輪場 400m) 4/14は雨天のため中止

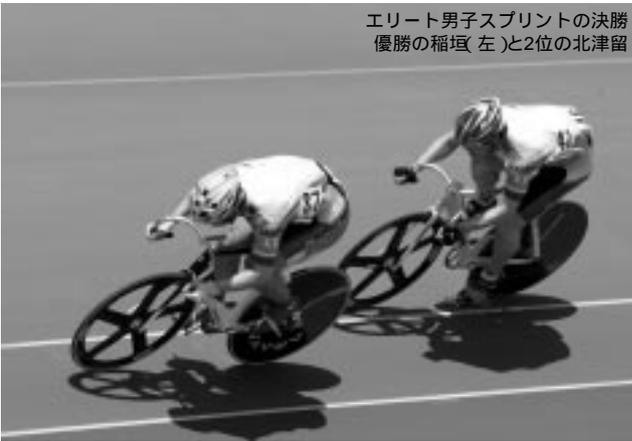
エリート男子ケイリンのゴールスプリント
左が1位の矢口



惜しくも2位のエリート男子マディソンの日本チーム



エリート男子スプリントの決勝
優勝の稲垣(左)と2位の北津留



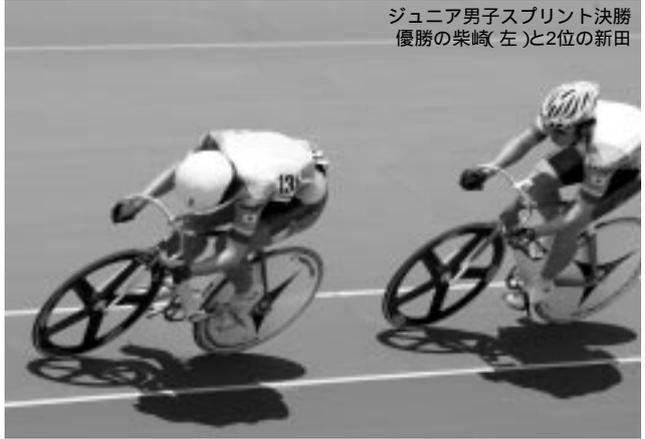
エリート男子ポイント4位の盛



エリート男子個抜優勝の内田



ジュニア男子スプリント決勝
優勝の柴崎(左)と2位の新田



ジュニア男子ケイリン決勝
左が1位の早坂



ジュニア女子個抜
優勝の秋原



エリート男子1kmTT優勝の井上



エリート女子500mTT3位の太刀川



エリート女子個抜4位の中村

[競技結果]

<エリート男子>

1kmタイムトライアル

1	井上 昌己	JPN	1:04.732
2	矢口啓一郎	JPN	1:06.636
3	マツジュン	CHN	1:07.968

スプリント

1	稲垣 裕之	JPN	
---	-------	-----	--

2	北津留 翼	JPN	
3	チョンギョ	KOR	

4km個人追抜競走

1	内田 慶	JPN	4:41.150
2	アスカリ 純仁	IRI	4:51.511
3	ルッキ アルガ	IRI	不戦勝
6	黒木 裕介	JPN	4:56.432

ケリッ

1	矢口啓一郎	JPN	
2	フェジ ユンク	KOR	
3	稲垣 裕之	JPN	

スクラッチ (10km)

1	内田 慶	JPN	
2	ウグ オジャン	CHN	
3	ウオン 弘ホリ	HKG	
12	黒木 裕介	JPN	

ポイントレース (24km)

1	ウン キョン	KOR	57 p
2	ウオン 弘ホリ	HKG	49 p
3	サイディ タハ アッパース	IRI	39 p
4	盛 一大	JPN	13 p
10	西谷 泰治	JPN	2 p
14	坂口 博	JPN	1 p

マデッソ

1	中国	12 p
2	日本 (西谷・盛)	10 p
3	大韓民国	9 p

チームスプリント

1	日本 (矢口・井上・大森)	1:15.342
2	チャイニーズタイペイ	1:17.693
3	大韓民国	1:18.281

4km団体追抜競走

1	大韓民国	4:24.893
2	ドイツ	4:26.128
3	日本 (内田・西谷・黒木・盛)	4:26.667

<エリート女子>

500mタイムトライアル

1	ジアンヨホ	CHN	35.344
2	ティエンフォン	CHN	36.881
3	太刀川 麻也	JPN	37.295
5	遠藤 友子	JPN	37.714

スプリント

1	ジアンヨホ	CHN	
2	ティエンフォン	CHN	
3	太刀川 麻也	JPN	
6	遠藤 友子	JPN	

3km個人追抜競走

1	リメフオン	CHN	3:55.281
2	仏ヒャンジュン	KOR	4:12.434
3	ライシャロイ	TPE	3:57.671
4	中村 珠藻	JPN	4:14.719

ケリッ

1	太刀川 麻也	JPN	
2	ティエンフォン	CHN	
3	アンヨヒ	KOR	

ポイントレース (16km)

1	ノタジン ジャンパン	THA	17 p
2	ニフォン	CHN	17 p
3	ライシャロイ	TPE	15 p
8	永田 萌子	JPN	0 p
9	中村 珠藻	JPN	-15 p

チームスプリント

1	中国	56.318
2	日本 (太刀川・遠藤)	57.460
3	チャイニーズタイペイ	1:00.018

<ジュニア男子>

1kmタイムトライアル

1	早坂 秀悟	JPN	1:06.493
2	菅田 壱道	JPN	1:06.945
3	私テドン	KOR	1:08.414

スプリント

1	柴崎 淳	JPN	
2	新田 祐大	JPN	
3	ベンチュンチ	TPE	

3km個人追抜競走

1	ジュヒョンク	KOR	3:36.841
2	ナギ 純仁	IRI	3:41.471
3	房州 輝也	JPN	3:38.298
10	石川 雅望	JPN	3:49.223

ケリッ

1	早坂 秀悟	JPN	
2	ホスギル	KOR	
3	ムハマト ハリス スフィアン	MAS	

スクラッチ (8km)

1	菅田 壱道	JPN	
2	サハル マチム	UZB	
3	カショバ リック	KAZ	
8	石川 雅望	JPN	

ポイントレース (12km)

1	ジュヒョンク	KOR	17 p
2	アンド リュンコドミトリ	KAZ	10 p
3	房州 輝也	JPN	8 p
10	島田 真琴	JPN	2 p
14	西村 光太	JPN	0 p

チームスプリント

1	日本 (新田・柴崎)	52.019
2	大韓民国	52.300
3	チャイニーズタイペイ	54.605

4km団体追抜競走

1	大韓民国	4:30.930
2	日本 (西村・菅田・石川・房州)	4:35.584
3	オーストラリア	4:37.430

<ジュニア女子>

500mタイムトライアル

1	ワンチン	CHN	37.119
2	ウジンア	KOR	37.702
3	ウヒジョン	KOR	39.014
4	岡 希美	JPN	39.368
5	牛島 愛	JPN	39.489

スプリント

1	ウジンア	KOR	
2	ワンチン	CHN	
3	岡 希美	JPN	
4	佐藤 美香	JPN	

2km個人追抜競走

1	萩原麻由子	JPN	2:40.749
2	私スヨン	KOR	2:42.649
3	マリア	CHN	2:45.235

ポイントレース (10km)

1	私スヨン	KOR	11 p
2	イファンウ	TPE	10 p
3	レオハイン	MAS	8 p
8	萩原麻由子	JPN	3 p



1位田代

2位鈴木

第7回全日本選手権 ロードレース

3kmコースの急坂を行く集団



田代を追う後続集団



2位集団で苦しみながらゴールする鈴木

田代のフィニッシュ



ゴール後の田代



3kmコースの急坂を行く沖(左)と唐見

唐見を引き離しゴールする沖



【競技結果】静岡・日本CSC 8kmコース

<男子> (4/30 176km)

- | | | | |
|----|-------|------------|---------|
| 1 | 田代 恭崇 | JPCA BSアツカ | 5:25:35 |
| 2 | 鈴木 真理 | JPCA シノ | 5:28:16 |
| 3 | 野寺 秀徳 | JPCA シノ | 5:28:16 |
| 4 | 福島 晋一 | JPCA BSアツカ | 5:28:17 |
| 5 | 真鍋 和幸 | JPCA ミヤ | 5:28:21 |
| 6 | 狩野 智也 | JPCA シノ | 5:28:41 |
| 7 | 今西 尚志 | JPCA シノ | 5:29:38 |
| 8 | 福島 康司 | JPCA BSアツカ | 5:33:19 |
| 9 | 阿部 良之 | JPCA シノ | 5:33:21 |
| 10 | 山本 雅道 | JPCA シノ | 5:36:35 |

<女子> (5/1 80km)

- | | | | |
|----|-------|-----------|---------|
| 1 | 沖 美穂 | JPCA 元ノタ | 2:57:18 |
| 2 | 唐見実世子 | 石川 カリス | 2:57:30 |
| 3 | 森本 朱美 | 鳥取 鳥取湖陵高 | 2:59:39 |
| 4 | 嶋田 広子 | 強化 セイクリッド | 2:59:39 |
| 5 | 高橋いづみ | 東京 SY-Nak | 2:59:56 |
| 6 | 西 加南子 | 千葉 汎和 | 3:00:26 |
| 7 | 中込由香里 | 長野 SY-Nak | 3:00:38 |
| 8 | 中村 珠藻 | 奈良 順天堂大学 | 3:02:24 |
| 9 | 関家 朋子 | 東京 汎和 | 3:04:57 |
| 10 | 小野山恵美 | 愛媛 イキップ1- | 3:09:18 |



女子の表彰式



スタート前の沖

第9回ジュニア全日本選手権ロードレース



急坂を喘ぐジュニアのメイン集団

[競技結果] (80km)

(4/30 静岡・日本CSC 8kmサ-キット)

- 1 島田 真琴 東京 法政大学 2:29:32
- 2 根本 大地 東京 本所工高 2:29:38
- 3 石井 陽 京都 花園高校 2:30:07
- 4 大園 健太 奈良 北大和高校 2:30:10
- 5 山本 雅之 奈良 北大和高校 2:30:12
- 6 片山 和正 岡山 鹿屋体育大 2:30:12
- 7 飯塚 航 群馬 前橋育英高 2:31:14
- 8 老田 龍海 奈良 北大和高校 2:31:24
- 9 湯浅 徹 千葉 京葉工業高 2:31:51
- 10 田中 武 香川 石田高校 2:32:08



島田のゴール



1周前、1号橋からの登りで根本を引き離す島田

SHIMANO

*The 100th Anniversary Tour de France
Lance Armstrong
United States Postal Service Team, USA
Wins Fifth Consecutive
Riding New DURA-ACE*

DURA-ACE

www.shimano.com

第73回全日本アマチュア選手権ロードレース



ゴール前の直線を行く品川(右)と盛

[競技結果] (112km)

(5/1 静岡・日本CSC 8kmサ-キット)

1	品川 真寛	京都 ミナソノ	3:40:19
2	盛 一大	茨城 日本大学	3:40:19
3	池田 丈志	奈良 鹿屋体育大	3:40:21
4	室井 佑介	愛知 法政大学	3:41:06
5	舟木 誠	福島 日本大学	3:41:26
6	大野 涼太	青森 中央大学	3:45:12
7	森山 大知	神奈川 トレノ	3:45:18
8	秋山 英也	長野 日本大学	3:45:44
9	飯野 嘉則	東京 東京電機大	3:46:45
10	片山 智晴	岡山 法政大学	3:48:16



ゴールスプリントを制する品川



2号橋からの登りを走る先頭集団



平成16年4月19日 日本自転車競技連盟

2004年ロード世界選派遣選手選考基準

4月16日に選手強化委員会(委員長=穴田勝彦)を開催し、2004年世界選手権大会ロードレース派遣選手の選考について審議し、下記の基準により選考することが決定しましたのでご連絡します。

なお、最終的な派遣選手については選手強化本部(本部長=岩楯昭一)にて決定されます。

記

1 男子エリート

- (1) 2004年8月15日UCIポイントランキングにより、出場枠が獲得できた場合は、全日本選手権大会1位者を選考する。
- (2) 2004年アジア選手権大会1位者を選考する。

2 女子エリート

全日本選手権大会1位者を選考する。

3 アンダー23

全日本選手権大会男子並びに全日本アマ選手権大会(U23)の成績を基に選考する。

4 男子ジュニア

- (1) ジュニア全日本選手権大会1位者を選考する。
- (2) 2004年インターハイ1位者を選考する。

5 女子ジュニア

全日本選手権大会女子ジュニア1位者を選考する。

以上

第29回チャレンジサイクル・ロードレース



A-Eのスタート



A-Eのゴール



A-E、冷たい雨の中
心臓破りの坂を登るシマノ3名



A-Eの1位鈴木(左)と2位狩野



A-E、快調に先行するシマノの3名

A-F優勝の唐見



4月4日、静岡の日本CSC・5kmサーキットにおいて第29回チャレンジサイクルロードレースが開催された。

A-Eクラスが始まる頃には冷たい雨が降り始めたが、その中、シマノの1・2・3フィニッシュで幕を閉じた。

[競技結果]

A-E (60km)

1	鈴木 真理	JPCA	シノ	1:45:52.407
2	狩野 智也	JPCA	シノ	1:45:52.552
3	山本 雅道	JPCA	シノ	1:46:51.145
4	田中 光輝	愛知 愛三工業		1:46:58.793
5	別府 匠	JPCA	愛三工業	1:47:04.445
6	今西 尚志	JPCA	シノ	1:47:04.531
7	鈴木 雷太	長野	ブリヂストン	1:47:04.719
8	真鍋 和幸	JPCA		1:47:04.870
9	中村 文武	東京	中村設計	1:47:05.261
10	西谷 雅史	東京	サイクルポイント	1:47:05.338

A-F (20km)

1	唐見実世子	石川	カリーズ	40:35.263
2	西 加南子	千葉	スタ・カノ	42:08.859
3	村中恵美子	東京	カノカノ	42:18.228
4	中村 珠藻	奈良	順天堂大学	42:18.765
5	真下 正美	神奈川		42:19.089
6	高橋いづみ	東京	日野療護園	42:26.747
7	関家 朋子	東京		42:40.468
8	中込由香里	長野	SY-Nak	44:04.124
9	豊岡 英子	大阪	大阪体育大	45:38.778
10	永田 萌子	大分	明治大学	45:49.578

A-U (40km)

1	土井 雪広	山形	シノ	1:08:51.969
2	盛 一大	茨城	日本大学	1:09:09.559
3	池田 丈志	奈良	鹿屋体大	1:09:55.333
4	天沼 雅貴	鹿児島	鹿屋体大	1:10:25.612
5	渡辺 将大	群馬	中央大学	1:10:25.831
6	辻 善光	京都	立命館大	1:10:25.846
7	大野 涼太	青森	中央大学	1:10:25.914
8	品川 真寛	京都	ミヤ工業	1:10:26.033
9	森山 大知	神奈川		1:10:26.052
10	飯野 嘉則	東京	東京電大	1:10:26.237

A-J (40km)

1	島田 真琴	東京	八王子工	1:12:35.116
2	西村 光太	三重	早稲田大学	1:12:37.799
3	飯塚 航	群馬	前橋育英	1:12:40.875
4	湯浅 徹	千葉	京葉工高	1:12:44.661
5	米村 俊	東京	豊多摩高	1:12:44.800
6	根本 大地	東京	本所工高	1:12:45.457
7	小川 達也	静岡	修善寺工	1:12:49.734
8	長江 寿也	青森	中央大学	1:12:50.342
9	大園 健太	奈良	北大和高	1:12:52.202
10	老田 龍海	奈良	北大和高	1:13:56.704

A-M (35km)

1	小泉 操	埼玉	シノガデン	1:05:15.287
2	高橋 秀樹	静岡	ヤマ	1:05:52.568
3	松井 久	大阪	シノ	1:06:25.139
4	屋部 佳伸	静岡	C.S.Net	1:06:25.210
5	高梨真幸人	東京	音羽ビル	1:08:02.643
6	大野二美雄	東京	大野写真	1:08:54.180
7	森下 繁	大阪	シノ	1:09:00.390
8	奥 俊彰	埼玉	協和イクォ	1:09:07.196
9	クワン・フィリップ	東京		1:09:09.090
10	杉谷 聡	東京	AIG	1:09:09.518

A-J優勝の島田(右)と西村



A-U優勝の土井



A-M優勝の小泉

第20回全国高等学校選抜自転車競技大会

(トラック：3/27～28 静岡・日本競輪学校 333mトラック、ロード：3/29 静岡・日本サイクルスポーツセンター)

春の訪れとともに高校生のシーズン到来を告げる、平成15年度全国高等学校選抜自転車競技大会が静岡県にて開催された。トラックは日本競輪学校 333m走路、ロードは日本サイクルスポーツセンター5kmサーキット(右回り)にて実施された。

[1kmタイム・トライアル]

この時期にしては好コンディションの中、1kmタイムトライアルが実施された。5組ホームスタートの中野彰人(和歌山:和歌山北①)が1分9秒748で暫定1位(結果3位入賞)。その後は一桁タイムがなく、最終組前の14組ホームスタートの大西祐(香川:高松工専②)が唯一9秒を切る、1分8秒917の好タイムで優勝。最終組バックスタートの菅田彦道(宮城:仙台商)が1分9秒144の2位でタイムトライアルを終了した。春先の大会の為、特に際立った記録(インターハイと比較して1.5～2秒落ち)は見受けられないが、上位8名は10秒台以内のタイムに収まっており、これからは早めにコンディションを作らないと入賞は難しいと思われる。

[3km個人追抜競走]

決勝は房州輝也(福島:平工②)と川西貴之(岐阜:岐南工②)の対戦となった。両者決勝までのベストタイムは、房州が3分41秒248(予選)、川西が3分44秒193(1/2決勝)でその差は約3秒。走りも対照的で前半から積極的に飛ばす房州に対し、終始ペースを刻む川西の組み合わせで決勝がスタートした。結

果は、ホームスタートの房州がスタートより積極的に飛ばしリードを保ち、そのまま逃げ切って優勝。インターハイの雪辱を晴らした。相手の川西は予定していたペースに乗せきれず苦しい走りであった。3位には、3・4位決定戦を制した土屋壮登(埼玉:川越工①)が入賞した。

[スプリント]

決勝戦は、高橋紀史(秋田:六郷②)と柴崎淳(三重:朝明②)の対戦となった。お互いに勝ち上がり段階では1本も落としておらず興味のある決勝戦であった。1回戦は、柴崎の猛追を振り切り、高橋が逃げ切りまずは先取、2回戦は柴崎が2コーナー後方からタイミングよく踏み出し、そのまま逃げ切り1対1となった。3回戦は逃げる高橋をゴール前柴崎が追い込み、対戦成績2対1で優勝した。両者の脚質を生かした見応えあるレース展開であった。また、3・4位決定戦を制した岸澤賢太(埼玉:鳩山②)が3位に入賞した。

[ポイントレース]

2004年度版競技規則の運用により中間スプリントの1位通過のメリットはなくなった。効率よく5点を獲得した池田諒(群馬:前橋育英②)が得点19点で優勝。最終ゴールの得点次第では優勝の可能性も残されていた八尋翔平(福岡:久工大附②)は、最終周回積極的に仕掛けるも得点に結びつかなかったが、17点で2位に入賞。吉田真人(奈良:榛原②)が11点で3位に入った。周回獲得



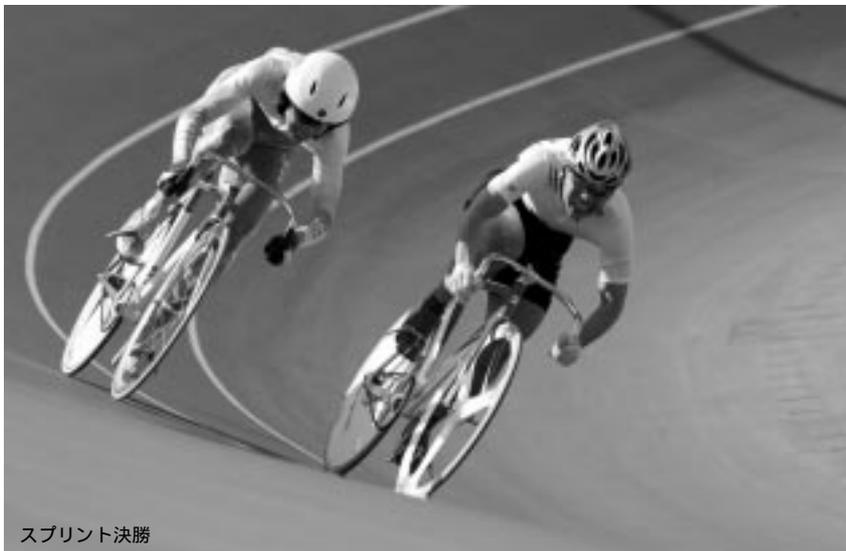
に対して20点プラスになるため各選手積極的に仕掛けるもなかなか決定打にはならないようであった。スプリント勝負になり点数が分散するため、以前のような大量得点で優勝することがあまり見られなくなったが、高校生のレベルにあっても、規則改正により選手の積極性を引き出す、また、レースの高速化は実現されつつあるのではと感じさせるレースであった。

[ケイリン]

ペーサーが退避後、出場全選手が実績ある加美山隆行(宮城:仙台商②)の動きを警戒し動けない中、決勝メンバーの中で唯一の1年生、柁原翔太(神奈川:横浜①)が最終周回に入りスパートを開始。東矢・榎山と続き、2コーナーから加美山が大外よりスパートかける。それを見て同じく榎山がバックよりスパート、2番手の東矢昇太(熊本:東海大二②)も後続の動きに合わせて3コーナーよりスパートし、後続を抑えて1位でゴールした。東矢は嬉しい全国大会初優勝を飾った。2位には逃げ残った柁原、3位には榎山恭柄(福岡:豊国②)が入賞した。

[エリミネーション・レース]

決勝は4周目の落車により4名がエリミネイト、レース序盤での落車で残念であったが、以後順調にレースが展開された。残り3名の時点でベルが鳴らされると同時に、近藤洋基(岐阜:岐



スプリント決勝

ケイリン決勝



卓第一①)がエリミネイトされ3位が確定。残る2名の最終スプリントが注目された。結果、中山哲之(香川:石田②)がスプリントを制し優勝。2位には佐野佑一(徳島:徳島商②)が入賞した。エリミネーションは四国勢のワンツーフィニッシュで競技を終了した。

〔個人ロードレース〕

日本CSC5kmコースを逆周り8周40kmで実施された。レースが動いたのは6周目、石井洋(京都:花園②)が単独でエスケープを開始。その後、根本大地(東京:本所工②)が約150m先の石井を追走し7周目に入り、2名で先頭集団を形成。その時のメイン集団との差約25秒。天候にも恵まれ石井はリズム感のよいペダリングで快調に飛ばす。根本は追走の疲れか上りでは苦しそう…。途中、集団でも動きはあるが、決定打につながらない。1号橋を過ぎて根本が遅れ、石井が単独で最終周回へ

入った。その時集団との差約25秒。第2集団から辻本翔太(埼玉:筑波大坂戸②)が飛び出し、遅れた根本と第2集団を形成するも、石井の走りはゴールに向けてさらにピッチが上がり一向に衰える気配はない。後方集団の思惑はよそに単独で逃げ切りを決め、ロード初優勝を飾った。花園高校としても選抜ロード2勝目である。2位争いは、岡豊洋(和歌山:紀北工②)が、先行する市山研(神奈川:法制二①)をゴール前猛追し2位、差された市山が3位に入賞した。出走164名中完走81名であった。

〔500mタイム・トライアル〕

全ての選手がバックストレッチよりスタートするため、スタート位置の有利不利がなく、また風もなくコンディションには恵まれた中でのレースであった。実質的には38秒台は出せるであろう選手4名の優勝争い。女子の選手にとっては高体連唯一の全国大会の

ため2年生はどうしても優勝したいところ。9組で出走の牛島愛(熊本:千原台②)はスタートの失敗が響き、40秒047で2位。10組の川端あゆみ(鳥取:倉吉総産①)が40秒301で4位。11組の岡希美(群馬:前橋育英②)39秒116で昨年2位の雪辱を晴らして優勝。最終組の佐藤美香(大分:別府商②)40秒187と振るわず結果3位であった。レース後の各選手一様に「バンクが重い…」との感想を漏らしていた。

〔2km個人追抜競走〕

昨年2位の萩原麻由子(群馬:伊勢崎女子②)が、前評判通り安定した走りであった。大会期間中のベストタイムは2分43秒078、平均速度44.15km、大会記録まで0.53秒及ばず残念であったが、昨年2位の雪辱を晴らしての優勝であった。2位には昨年6位の高倉実希(岩手:伊保内②)、3・4位決定戦を制した森智恵美(京都:北桑田②)が3位に入賞した。

〔ロードレース:女子〕

前日の2kmIPの優勝の萩原麻由子(群馬:伊勢崎女子②)がレース序盤より独走態勢を築き優勝し、前評判通りの実力を発揮した。2位には和田見里美(鳥取:倉吉東①)、3位には佐藤美香(大分:別府商業②)が入賞した。また、優勝タイムの39分59秒70は、選抜大会のコース新記録(CSC開催)であった。

〔学校対抗〕

香川県石田高等学校が14点、福岡県久留米大学付属高等学校も同じく14点ながら上位入賞者数で石田高等学校が学校対抗を制した。3位には13点で宮城県仙台商業高等学校、8位校も11点であった。昨年とは異なり、入賞校8校中6校が東海ブロックより以西の学校であった。

〔総括〕

開会式までの雨模様とは一転して好天に恵まれ、穏やかな天候の中、大会が開催することができました。過去においては、シーズンスポーツの特性上、記録的には低調であった大会ですが、近年においては「それなり」では入賞すらできない大会へと成長してきました。女子を含む1・2年生の大会でありあすが、一部種目においてはインターハイと比較しても遜色のないものも記録されています。タイム系競技においては環境面の影響も大きいため、そのよ

エリミネーション決勝





男子個人ロード優勝の石井



女子個人ロード優勝の萩原

うな意味でも今大会は「コンディションは良かった」のではなかったかと思えます。

また、日本競輪学校の施設をお借りしての開催のため会場には多大なるご迷惑をお掛けいたしました。まずはお詫び申し上げます。限られた環境下での開催の為、制約事項も多く、選手・監督、また関係者の方々には何かとご不便をお掛けしました。しかしながら、地元静岡県車連、日本競輪学校をはじめとする関係各位のご理解と、ご協力により大きな事故もなく無事大会を終了することができました。紙面をお借りしまして、心から感謝申し上げます。

(総務委員会:中田将次)

[競技結果]

男子1kmタイムトライアル

- 1 大西 祐 香川 高松工業高 1:08.917
- 2 菅田 壱道 宮城 仙台商業高 1:09.144
- 3 中野 彰人 和歌山 和歌山北高 1:09.748

- 4 石川 雅望 群馬 前橋工業高 1:10.276
- 5 片折 亮太 埼玉 鳩山高校 1:10.376
- 6 西村 英樹 富山 氷見高校 1:10.659

男子3km個人追抜競走

- 1 房州 輝也 福島 平工業高校 3:50.024
- 2 川西 貴之 岐阜 岐南工業高 3:57.336
- 3 土屋 壮登 埼玉 川越工業高 3:54.450
- 4 一ノ瀬 匠 佐賀 龍谷高校 3:57.286
- 5 稲吉 悠大 福岡 久工大附高 3:49.057
- 6 辻中 国宏 京都 北桑田高校 3:49.950

男子スプリント

- 1 柴崎 淳 三重 朝明高校 11.249
- 2 高橋 紀史 秋田 六郷高校 11.242
- 3 岸澤 賢太 埼玉 鳩山高校 11.348
- 4 光富 雄也 千葉 京葉工業高 11.465
- 5 高橋 和也 愛知 愛工大名電 11.619
- 6 中園 朋亨 福岡 久大附属高 11.516

男子ポイントレース

- 1 池田 諒 群馬 前橋育英高校 19 p
- 2 八尋 翔平 福岡 久工大附属高 17 p
- 3 吉田 真人 奈良 榛原高等学校 11 p
- 4 石倉 龍二 和歌山 和歌山北高校 10 p
- 5 依田 明久 岐阜 岐南工業高校 9 p
- 6 柴田 一樹 神奈川 向上高等学校 9 p

男子ケイリン

- 1 東矢 昇太 熊本 東海大第二高校
- 2 柘原 翔太 神奈川 横浜高校
- 3 櫻山 恭柄 福岡 豊国学園高校
- 4 佐藤 寿起 山形 山形電波工業高校
- 5 加美山隆行 宮城 仙台商業高校
- 6 瀧野 勝太 群馬 前橋工業高校

男子タイムトライアル

- 1 中山 哲之 香川 石田高等学校
- 2 佐野 佑一 徳島 徳島商業高等学校
- 3 近藤 洋基 岐阜 岐阜第一高等学校
- 4 高橋 義秋 大分 日出陽谷高等学校
- 5 神山 拓弥 栃木 作新学院高等学校
- 6 栗駒 匡樹 京都 花園高等学校

男子個人ロード (40km)

- 1 石井 陽 京都 花園高校 1:10:10.69
- 2 岡 豊洋 和歌山 紀北工高 1:10:26.64
- 3 市山 研 神奈川 法政二高 1:10:26.78
- 4 田中 武 香川 石田高校 1:10:28.12
- 5 佐野 佑一 徳島 徳島商高 1:10:28.71
- 6 針谷大二郎 栃木 作新学院 1:10:28.79
- 7 池田 諒 群馬 前橋育英 1:10:28.87
- 8 老田 龍海 奈良 北大和高 1:10:29.90
- 9 中村 由広 福島 学法石川 1:10:30.61
- 10 小川 達也 静岡 修善寺工 1:10:31.68

女子500mタイムトライアル

- 1 岡 希美 群馬 前橋育英高校 39.116
- 2 牛島 愛 熊本 千原台高校 40.047
- 3 佐藤 美香 大分 別府商業高校 40.187
- 4 河端あゆみ 鳥取 倉吉総合産高 40.301
- 5 早坂ありさ 宮城 東北高校 42.765
- 6 平岩 悠子 京都 北桑田高校 43.266

女子2km個人追抜競走

- 1 萩原麻由子 群馬 伊勢崎女子 2:45.425
- 2 栗原 瞳 埼玉 杉戸農業高 2:59.842
- 3 森 智恵美 京都 北桑田高校 2:54.790
- 4 高倉 実希 岩手 伊保内高校 2:55.998
- 5 和田見里美 鳥取 倉吉東高校 2:57.570
- 6 岸本紗也加 熊本 千原台高校 2:58.317

女子個人ロード (20km)

- 1 萩原麻由子 群馬 伊勢崎女高 39:59.70
- 2 和田見里美 鳥取 倉吉東高校 42:16.43
- 3 佐藤 美香 大分 別府商業高 42:20.72
- 4 森 智恵美 京都 北桑田高校 42:25.77
- 5 菊池日出子 福島 白河高校 44:10.07
- 6 栗原 瞳 埼玉 杉戸農業高 45:06.01
- 7 岡 希美 群馬 前橋育英高 46:18.26
- 8 高倉 実希 岩手 伊保内高校 46:41.88
- 9 平岩 悠子 京都 北桑田高校 47:35.15
- 10 河端あゆみ 鳥取 倉吉総合産高 48:24.40

総合成績

- 1 石田高校 香川 14 p
- 2 久留米工業大学附属高校 福岡 14 p
- 3 仙台商業高校 宮城 13 p



UCIトラック・ワールドカップ・クラシックス



UCIトラック・ワールドカップ 第3戦イギリス大会
(4/9-11 イギリス・マンチェスター 250m 屋内)

男子1kmタイムトライアル

1	MACLEAN Craig	GBR	1:01.689
2	BOS Theo	NED	1:02.675
3	LAUSBERG Sören	GER	1:02.822
13	神山雄一郎	JPN	1:05.688

男子スプリント

1	ZIELINSKI Damian	POL
2	ROUSSEAU Florian	FRA
3	VAN Eijden Jan	GER
4	永井 清史	JPN
9	金子 貴志	JPN

男子ケリツ

1	KELLY Shane John	AUS
2	NG Josiah	MAS
3	ROUSSEAU Florian	FRA
11	山田 裕仁	JPN

男子ポイントレース (30km)

1	LLANERAS Rosello Joan	ESP	53 p
2	WONG Kam-Po	HKG	33 p
3	PEARCE Colby	USA	30 p
5	飯島 誠	JPN	29 p

男子チームスプリント

1	GREAT BRITAIN	44.568
2	NETHERLANDS	45.033
3	FRANCE	45.434
6	日本 (神山・金子・永井)	46.058

女子500mタイムトライアル

1	HIJGENAAR Yvonne	NED	35.189
2	JIANG Yonghua	CHN	35.310
3	PENDLETON Victoria	GBR	35.499
10	大菅小百合	JPN	36.181

女子スプリント

1	PENDLETON Victoria	GBR	
2	YANOVYCH Irina	UKR	
3	PANZER Susan	GER	
	大菅小百合	JPN	予選敗退



本年8月に開催されるアテネ五輪の出場枠獲得のため、そして世界選手権出場をかけて、日本代表選手団が2004年トラックワールドカップ第2戦メキシコ大会と第3戦イギリス大会に出場した。

第2戦メキシコ大会では、男子チームスプリントで、フランスに惜しくも敗れたものの第2位となり昨年のオーストラリア大会に続き表彰台に上った。

[競技結果]

UCIトラック・ワールドカップ 第2戦メキシコ大会
(3/12-14 メキシコ・アグアスカリエンテス 333m 屋外)

男子1kmタイムトライアル

1	NIMKE Stefan	GER	1:01.997
2	TOURNANT Arnaud	FRA	1:02.165
3	KERSTEN Ben	AUS	1:02.281
9	矢口啓一郎	JPN	1:04.202

男子ケリツ

1	BOURGAIN Mickaël	FRA
2	VAN EIJDEN Jan	GER
3	ESCURADO RAIMONDEZ José Antonio	ESP
4	伏見 俊昭	JPN

男子ポイントレース (30km)

1	CURUCHET Juan Esteban	ARG	15 p
2	PERQUE Franck	FRA	15 p
3	CICCONI Angelo	ITA	14 p
13	飯島 規之	JPN	5 p

男子チームスプリント

1	FRANCE	1:00.199
2	日本 (長塚・伏見・井上)	1:00.819
3	GERMANY	1:01.222

女子500mタイムトライアル

1	TSYLINSKAYA Natallia	BLR	34.587
2	MEARES Anna	AUS	34.597
3	HIJGENAAR Yvonne	NED	34.864
12	大菅小百合	JPN	35.894



第2戦チームスプリント2位の日本チーム(左端)



第4回全日本実業団選抜トラック記録会



団抜優勝の愛三工業

[競技結果]

(4/25 静岡 日本CSC・250mトラック)

男子1kmタイムトライアル

- | | | | |
|---|-------|-------------|----------|
| 1 | 在本 直樹 | Z-1MEDALIST | 1:07.150 |
| 2 | 西谷 泰治 | 愛三工業レーシング | 1:09.950 |
| 3 | 細沼 健二 | パインビルズ '90 | 1:10.833 |
| 4 | 矢野 光浩 | サイクルクラブ FET | 1:10.837 |
| 5 | 木村 圭吾 | パインビルズ '90 | 1:11.227 |
| 6 | 大村 慶二 | チームガッタ | 1:11.850 |

男子スプリント

- | | | |
|---|-------|----------------|
| 1 | 大沢 雄大 | パインビルズ '90 |
| 2 | 大木 卓也 | スミタ・リバ 和 Pi |
| 3 | 鈴木 英介 | マツバ 0-チエARIAKE |
| 4 | 河端 朋之 | Z-1MEDALIST.RC |
| 5 | 湯原 正行 | チームサイクルマインド |
| 6 | 河村 雅章 | パインビルズ '90 |

男子個人追抜競走

- | | | | |
|---|-------|------------|----------|
| 1 | 西谷 泰治 | 愛三工業レーシング | 4:57.781 |
| 2 | 三木 哲也 | アミバ イタルAS | 5:00.674 |
| 3 | 坂口 博 | 愛三工業レーシング | 5:00.815 |
| 4 | 吉井 功治 | アミバ イタルAS | 5:05.218 |
| 5 | 細沼 健治 | パインビルズ '90 | 5:07.505 |
| 6 | 岡田 将太 | マツバ 0-チエ | 5:09.600 |

男子ケイリン

- | | | |
|---|-------|----------------|
| 1 | 西尾 孝政 | デューロ |
| 2 | 吉田 康則 | Z-1MEDALIST.RC |
| 3 | 大木 卓也 | スミタ・リバ 和 Pi |
| 4 | 大村 慶二 | チームガッタ |
| 5 | 河村 雅章 | パインビルズ '90 |
| 6 | 朝倉 佳弘 | パインビルズ '90 |

男子ホクトレース

- | | | | |
|---|-------|----------------|-----|
| 1 | 吉井 功治 | アミバ イタルASレーシング | 23p |
| 2 | 秋田 謙 | 愛三工業レーシング | 20p |
| 3 | 坂口 博 | 愛三工業レーシング | 14p |
| 4 | 郡山 善貴 | 愛三工業レーシング | 11p |
| 5 | 行成 秀人 | Z-1MEDALIST.RC | 7p |
| 6 | 朝倉 佳弘 | パインビルズ '90 | 7p |

男子チームスプリント

- | | | | |
|---|-------------|------------|--------|
| 1 | Z-1MEDALIST | 吉田・在本・河端 | 49.363 |
| 2 | デューロ | 岡村・善波・西尾 | 51.865 |
| 3 | けんしん | 仲松太・仲松勝・喜納 | 52.927 |
| 4 | 武蔵精密・天狗党 | 越猪・林・深見 | 54.031 |
| 5 | フェアプレイス | 河上・齋藤・丹沢 | 54.100 |

男子団体追抜競走

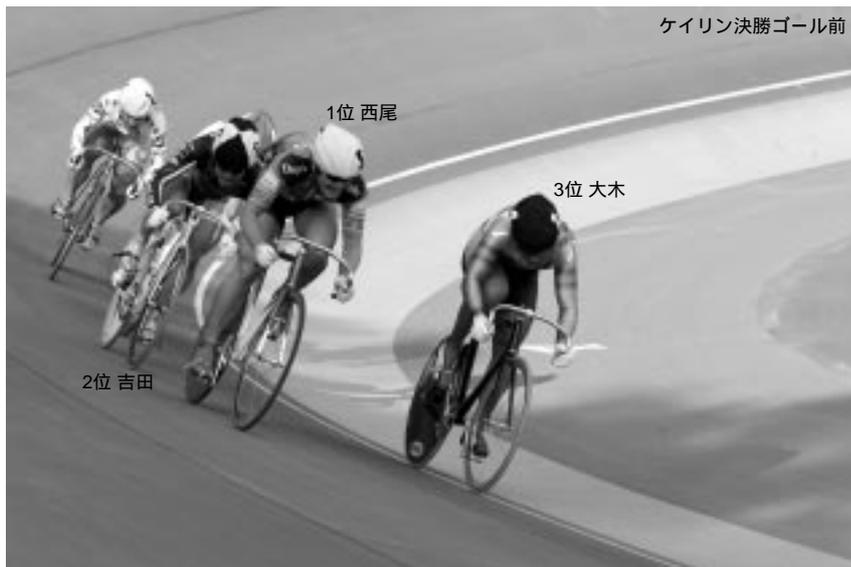
- | | | | |
|---|-------------|-------------|----------|
| 1 | 愛三工業レーシング | 西谷・坂口・郡山・秋田 | 4:47.778 |
| 2 | アミバ イタルAS | 吉井・柳澤・三木・工藤 | 4:51.294 |
| 3 | Z-1MEDALIST | 在本・行成・河端・赤澤 | 5:12.601 |

女子500mタイムトライアル

- | | | | |
|---|-------|-------------|--------|
| 1 | 篠崎 新純 | セオレーシング | 38.326 |
| 2 | 石井 寛子 | パインビルズ '90 | 40.802 |
| 3 | 栗原 瞳 | ALPHAWK | 41.077 |
| 4 | 濱田 真子 | スミタ・リバ 和 Pi | 42.119 |
| 5 | 飯田 香里 | フェアプレイス | 42.199 |
| 6 | 大塚 沙織 | チームアマツ | 42.223 |

女子個人追抜競走

- | | | | |
|---|-------|-------------|----------|
| 1 | 大塚 沙織 | チームアマツ | 4:22.760 |
| 2 | 石井 寛子 | パインビルズ '90 | 4:24.556 |
| 3 | 栗原 瞳 | ALPHAWK | 4:31.102 |
| 4 | 濱田 真子 | スミタ・リバ 和 Pi | 4:32.186 |
| 5 | 篠崎 新純 | セオレーシング | 4:32.270 |
| 6 | 飯田 香里 | フェアプレイス | 4:32.374 |



ケイリン決勝ゴール前

1位 西尾

3位 大木

2位 吉田



女子500mTT優勝の篠崎



チームスプリント優勝のZ-1MEDALIST

第6回 3DAY CYCLE ROAD 熊野



個人総合優勝の鈴木

第6回目を迎えた3DAY CYCLE ROAD熊野は大会史上初めて、3日間晴天の中で行われた。

大会1日目は和歌山県熊野川町の赤木川清流が舞台。午前中に1.7kmの個人タイムトライアルで争われた第1aステージは、最終走者の鈴木真理(シマノレーシング)がダントツの2分21秒台のタイムで走り抜けてステージ優勝を決めた。

午後に行われた123.2kmの第1bステージは集団ゴール勝負となり、写真判定で鈴木真理が広瀬敏を破り、第1aステージに続きステージ2勝目をあげた。

翌2日目の第2ステージは、三重県熊野市、御浜町、紀和町を走る熊野山岳コースで、今大会もっとも重要なステージとなった。このレースもシマノレーシングが抜群の総合力を見せ、リーダージャージを着る鈴木真理がステージ3勝目をあげた。個人総合を争う

NIPPOは岡崎と広瀬の2選手をのみの参加で、完全にコマ不足だったが、広瀬は自力でステージ2位を獲得し、チームメイトに優勝のお膳立てされた鈴木に対して、脅威を与える走りを見せてくれた。

第3ステージは奈良県下北山スポーツ公園内の1周2.8kmの特設コースを30周するクリテリウムで行われた。序盤に岡崎と橋川健(キナンCCD)がシマノのコントロールする集団から抜け出して、タイム差を広げた。さらに愛三工業の別府

匠も加わり先頭は3人に。集団のシマノは追い始める気配をみせなかった。

結局3人の中から岡崎和也が抜け出し、2秒差で集団から逃げ切ってステージ優勝を決めた。橋川と別府は集団に吸収されて2位争いは集団のスプリント勝負となり、またも鈴木が広瀬をよせつけず、2位でゴール。同時に2年連続の個人総合優勝を決めた。鈴木はポイント賞も獲得。山岳賞はすべてのKOMをトップで通過した狩野智也(シマノレーシング)、23歳未満の選手が対象の新人賞は、台湾選抜チームの彭貴祥が獲得した。

(大会公式レポート 別府 始)

[競技結果]

第1ステージ A (4/16 赤木川清流1.7km)

1	鈴木 真理	JPCA シマノレーシング	2:21.80
2	岡崎 和也	JPCA 新宮FIRE D.	2:23.22
3	広瀬 敏	JPCA 新宮FIRE D.	2:23.83
4	飯島 誠	JPCA スミタリ 和	2:24.86
5	山本 雅道	JPCA シマノレーシング	2:26.59

6	彭 貴祥	TPE 台湾選抜チーム	2:26.70
7	品川 真寛	京都 ミヤカスバル	2:26.93
8	向川 尚樹	大阪 フェブロビスタ	2:27.04
9	田中 光輝	愛知 愛三工業	2:27.34
10	今西 尚志	JPCA シマノレーシング	2:27.43

第1ステージ B (4/16 赤木川清流123km)

1	鈴木 真理	JPCA シマノレーシング	2:52:26
2	広瀬 敏	JPCA 新宮FIRE D.	2:52:26
3	三船 雅彦	JPCA ミヤカスバル	2:52:26
4	岡崎 和也	JPCA 新宮FIRE D.	2:52:26
5	鈴木 太地	栃木 YOU CAN	2:52:26
6	三浦 恭資	JPCA 絆 CCD	2:52:26
7	中田 真琴	奈良 NEX	2:52:26
8	頼 冠華	TPE 台湾選抜チーム	2:52:26
9	長野 耕治	愛媛 NEX	2:52:26
10	辻 俊行	大阪 カガリAS	2:52:26

第2ステージ (4/17 下北山118km)

1	鈴木 真理	JPCA シマノレーシング	2:55:30
2	広瀬 敏	JPCA 新宮FIRE D.	2:55:31
3	狩野 智也	JPCA シマノレーシング	2:56:40
4	野寺 秀徳	JPCA シマノレーシング	2:57:17
5	山本 雅道	JPCA シマノレーシング	2:57:24
6	岡崎 和也	JPCA 新宮FIRE D.	2:57:24
7	別府 匠	JPCA 愛三工業	2:57:24
8	今西 尚志	JPCA シマノレーシング	2:57:24
9	三浦 恭資	JPCA 絆 CCD	2:57:24
10	頼 冠華	TPE 台湾選抜チーム	2:57:24

第3ステージ (4/18 下北山87km)

1	岡崎 和也	JPCA 新宮FIRE D.	2:01:31
2	鈴木 真理	JPCA シマノレーシング	2:01:33
3	広瀬 敏	JPCA 新宮FIRE D.	2:01:33
4	三浦 恭資	JPCA 絆 CCD	2:01:33
5	三船 雅彦	JPCA ミヤカスバル	2:01:33
6	鈴木 太地	栃木 YOU CAN	2:01:33
7	田中 泰治	北海道 YOU CAN	2:01:33
8	長野 耕治	愛媛 NEX	2:01:33
9	内山 靖樹	神奈川 新宮FIRE D.	2:01:33
10	山本 雅道	JPCA シマノレーシング	2:01:33

個人総合成績

1	鈴木 真理	JPCA シマノレーシング	7:51:31
2	広瀬 敏	JPCA 新宮FIRE D.	7:51:40
3	狩野 智也	JPCA シマノレーシング	7:53:09
4	岡崎 和也	JPCA 新宮FIRE D.	7:53:35
5	野寺 秀徳	JPCA シマノレーシング	7:53:43
6	山本 雅道	JPCA シマノレーシング	7:53:48
7	別府 匠	JPCA 愛三工業	7:53:49
8	彭 貴祥	TPE 台湾選抜チーム	7:53:49
9	今西 尚志	JPCA シマノレーシング	7:53:50
10	頼 冠華	TPE 台湾選抜チーム	7:53:50

個人ポイント賞

1	鈴木 真理	JPCA シマノレーシング	38 p
2	岡崎 和也	JPCA 新宮FIRE D.	33 p
3	広瀬 敏	JPCA 新宮FIRE D.	27 p

団体総合成績

1	シマノレーシング	23:38:38
2	絆 CCD	23:41:52
3	新宮FIRE DORAGON	23:45:47
4	台湾選抜チーム	23:46:26
5	愛三工業レーシングチーム	23:51:22
6	ミヤカスバルレーシングチーム	23:56:19

競技大会結果

チーム名等については略して記載

第9回西日本チャレンジサイクルロードレース (3/21 広島・中央森林公園)

A-E (61.5km)

- 1 西谷 泰治 愛知 愛三工業 1:34:01.31
- 2 田中 光輝 愛知 愛三工業 1:34:01.48
- 3 新保 光起 JPCA 愛三工業 1:34:01.66
- 4 小笠原崇裕 長野 LEMOND 1:34:44.11
- 5 橋本 健 鹿児島 ミヤビル 1:34:45.35
- 6 中里 聡史 埼玉 ORBEA 1:34:46.16
- 7 別府 史之 JPCA 愛三工業 1:34:46.36
- 8 米山 一輝 東京 ミヤビル 1:34:46.61
- 9 真鍋 和幸 JPCA ミヤビル 1:34:46.84
- 10 秋田 謙 愛知 愛三工業 1:34:47.11

A-M (36.9km)

- 1 山崎 範行 岡山 チム岡山 1:00:01.34
- 2 松井 久 大阪 シブドリヤ 1:00:18.53
- 3 中田 尚志 京都 祢久 1:00:19.18
- 4 入江 克典 大阪 シブドリヤ 1:00:29.28
- 5 福田 貴之 京都 ZIPPY 1:02:06.59
- 6 村岡 哲 広島 S.B.M 1:02:06.90

- 7 松井 正通 京都 JOTO 1:02:07.56
- 8 池田 康広 岡山 チム岡山 1:02:07.91
- 9 三村 尚 岡山 チム岡山 1:02:08.10
- 10 辰巳裕次郎 滋賀 功が 1:02:08.31

A-U (36.9km)

- 1 渡辺 将大 群馬 中央大学 1:01:41.91
- 2 天沼 雅貴 鹿児島 鹿屋体大 1:01:42.49
- 3 長 義幸 和歌山 田辺高校 1:01:50.33
- 4 池田 丈志 標語 鹿屋体大 1:01:50.55
- 5 長沼 隆行 埼玉 明治大学 1:02:39.22
- 6 三瀧 光誠 山形 鹿屋体大 1:02:39.59
- 7 柏原 剛 京都 立命館大 1:02:43.61
- 8 中島 康晴 福井 鹿屋体大 1:02:44.45
- 9 荒木 就平 鹿児島 鹿屋体大 1:02:45.05
- 10 石浦 一憲 京都 立命館大 1:02:45.72

A-F (24.6km)

- 1 森本 朱美 鳥取 ミヤビル 和 40:28.36
- 2 豊岡 英子 大阪 bicinoko 42:05.12
- 3 中村 珠藻 奈良 順天堂大学 43:57.85
- 4 宮崎 杏菜 大分 別府商業高 44:09.65
- 5 小野山恵美 愛媛 equipeU 44:33.83
- 6 中山 朋子 神奈川 ミヤビル 和 45:46.72
- 7 武田美夕紀 愛媛 走れ馬鹿犬 46:09.05
- 8 加藤 紀衣 大阪 PCサイクルクラブ 46:26.28
- 9 池田 桂子 大阪 Testach-R. 46:33.13
- 10 酒井 真清 大阪 Testach R. 46:38.05



2004 JCF MTBジャパンシリーズ 小国 (4/18 熊本・小国町)

エリート男子

- 1 野口 忍 京都 TREK 2:21:21.76
- 2 竹谷 賢二 千葉 FORD/SP. 2:22:36.70
- 3 鈴木 雷太 長野 プリンス 2:23:27.10
- 4 小笠原崇裕 長野 G.FISHER 2:24:29.59
- 5 門田 基志 愛媛 FORD/SP. 2:26:28.19
- 6 千田 尚孝 愛知 KHS 2:26:57.91
- 7 色川 浩樹 茨城 GIANT J. 2:27:47.86
- 8 白石 真悟 大阪 シブドリヤ 2:27:54.51
- 9 松本 駿 長野 TREK 2:28:42.09
- 10 宇田川聡仁 長野 プリンス 2:29:08.42

エリート女子

- 1 中込由香里 長野 SY-Nak 2:00:57.90
- 2 真下 正美 神奈川 SY-Nak 2:02:03.17
- 3 片山 梨絵 神奈川 TREK 2:03:57.17
- 4 高橋いづみ 東京 SY-Nak 2:06:40.68
- 5 深井 薫 大阪 G.FISHER 2:09:51.95
- 6 武田美夕紀 愛媛 走れ馬鹿犬 2:15:43.96
- 7 田近 郁美 岐阜 GOD HILL 2:18:33.31
- 8 池田 桂子 大阪 ガチャン 2:19:26.90
- 9 岐部 容子 福岡 MASAYA 2:20:03.32
- 10 狩俣けい子 大阪 ガチャン 2:22:46.06



連盟の動き (3月中旬～5月上旬)

- | | | |
|-------|-----------------------------|------------------------|
| 3月25日 | ジャパンカップ推進委員会・実行委員会 | 於：栃木・宇都宮市 |
| 30日 | 第2回評議員会 | 於：東京・自転車会館 |
| 4月1日 | アジア選手権トラック強化合宿 | 於：三重・四日市市(～5日) |
| 2日 | 平成16年度公益補助事業内定通知書伝達式 | 於：東京・新霞ヶ関ビル |
| 2日 | アジア選手権実行委員会 | 於：三重・四日市市 |
| 5日 | 2004年UCIトラックワールドカップ第3戦選手団出発 | 於：イギリス・マンチェスター(帰国 13日) |
| 8日 | ACC理事会・ACC総会 | 於：三重・四日市市 |
| 5月1日 | 平成16年度第1回強化委員会 | 於：静岡・伊豆市 |

5・6月の主な予定

- | | | |
|-------|--|---------------------------|
| 5月11日 | 2004年UCIトラックワールドカップ第4戦選手団出発 | 於：オーストラリア・シドニー(帰国予定 17日) |
| 20日 | 平成16年度第1回財政部会 | |
| 21日 | 2004年UCIトラック世界選手権選手団出発 | 於：オーストラリア・メルボルン(帰国予定 31日) |
| 6月2日 | 平成16年度第1回総務委員会 | |
| 3日 | 平成16年度第2回強化委員会 | |
| 9日 | 平成16年度第1回国際競技大会派遣選手選考委員会
平成16年度第1回常務理事会 | |
| 18日 | 平成16年度第1回理事会 | |
| 25日 | 平成16年度第1回評議員会 | |



シクリスムエコー No.107 2004年4・5月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟
 発行人/岩橋昭一
 編集人/加藤 昭
 編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内
 TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508
 URL <http://www.jcf.or.jp/>

JCF協賛スポンサー

富士重工業株式会社
 森永製菓株式会社健康事業部
 ラピスタ新橋
 株式会社サテライトジャパン